



仲津小だより

行橋市立仲津小学校

8月6日の平和集会で、こんな話をしました・・・

8月6日は、日本中の人たちみんなが、戦争の恐ろしさや悲惨さ、平和の大切さ、命の尊さについて、改めて考える大事な日です。一年生は初めて聞く人もいるかもしれませんが、日本は昔、戦争をしていました。そして、今から75年前の、8月6日、午前8時15分に、世界で初めて、広島に原子爆弾が投下されました。また、その3日後、今度は長崎にも原子爆弾が投下されました。・・・・・・(略)・・・

多くの尊い命が一瞬にして奪われ、日本中の人々は、大きな悲しみを背負いました。あれから75年がたちましたが、私たちは、この悲しくつらい出来事を「かわいそう」という感想のままに 終わらせていけません。・・・・・・(略)・・・・

争いのない、平和な世界を作っていくために、私たちは、どうしたらよいのでしょうか。

校長先生は、一人ひとりが、まず、「小さな平和」をつくっていくことが大切だと思います。

「小さな平和」とは、

- ◇友だちと仲良く遊んだり、助け合って勉強したり、困っている人がいたら、「どうしたの?」「大丈夫?」と優しく声をかけたりすること
 - ◇もし、友だちとトラブルになっても、自分のことだけ主張するのではなく、相手の気持ちになって考え、自分の気持ちも言葉できちんと伝え、話し合いで解決に向かうこと
 - ◇「ばか、死ね、殺すぞ」等の言葉を使わないこと
- こんなことが、「小さな平和」につながる大事なことだと思いますが、みなさんは、どう考えますか？

一人ひとりが、「小さな平和」を大切にすれば、その小さな平和がたくさん集まって「大きな平和」になると思います。そして、その「大きな平和」がもっとたくさん集まると、もっともっと「大きな平和」になると思います。

私たち一人ひとりが、今、自分にできる「小さな平和」について真剣に考え、行動することが、「世界平和」につながっていくと思います。

この後、なかよし委員会や6年生が平和について、たくさんのことを、みなさんに教えてくれます。しっかり聞いて、「小さな平和」をつくるために、自分はどうすればよいか、真剣に考えてください。

平和授業の感想より

一人ひとりが小さな平和を大事にすること、そして、少しでもけんかをせず仲良く楽しくできるように行動することが大事なことだとわかりました。この小さな平和が積み重なって、小さな平和を大きな平和にしていけるようにすることが大事です。今日の平和集会で、戦争の恐ろしさや平和の大切さを改めて考えられたし、自分たちが発表した戦争のことが他学年の人たちにも伝わっていればいいなと思います。戦争は人が起こすことなので一人ひとりが努力すれば防げることがわかりました。

ぼくも校長先生と同じで、小さい平和から始めてだんだん大きな平和にしていきたいので、友だちへの悪口やトラブルにならないようにしていきたいし、もしトラブルになっても相手の気持ちを考えていきたいです。自分はこれまで何となく知っていたけど、戦争についてくわしく考えたことはありませんでした。今年、平和学習をして原子爆弾は人を亡くならせるだけでなく、今も苦しんでいる人がいるなど知って、自分も学校で仲良くしていきたいと思いました。

低学年にもしっかり知ってもらいたいです。

私はこれから大人になっても戦争の恐ろしさを覚えていて、人々にも戦争のことを教えたいです。絶対に戦争が起こらない世の中にしていきたいです。校長先生の言った小さな平和をつくっていきたいです。

もうこれから原子爆弾のことを経験した人が少なくなって、戦争の恐ろしさを知っている人が少なくなるから、今のみんなに戦争の恐ろしさを伝えていきたいと思いました。